

# TV セッターハイライン HA124 M サイズ 補足説明書

カラー版取扱説明書の「A8050」についての取付方法と、この補足説明書を照らし合わせて設置作業を行ってください。

## 設置にあたって：必ずお読みください



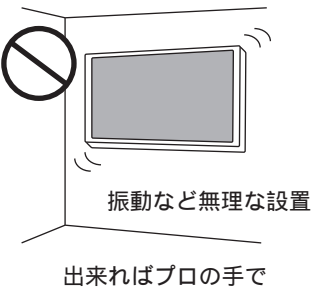
必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。

コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。

設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。

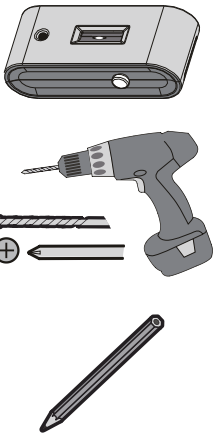
以下の場所には設置をしないでください。

- ・振動があるような不安定な場所
- ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- ・湿度や温度の高い場所
- ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
- ・開閉するドアの側
- ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



## 設置に使用する道具

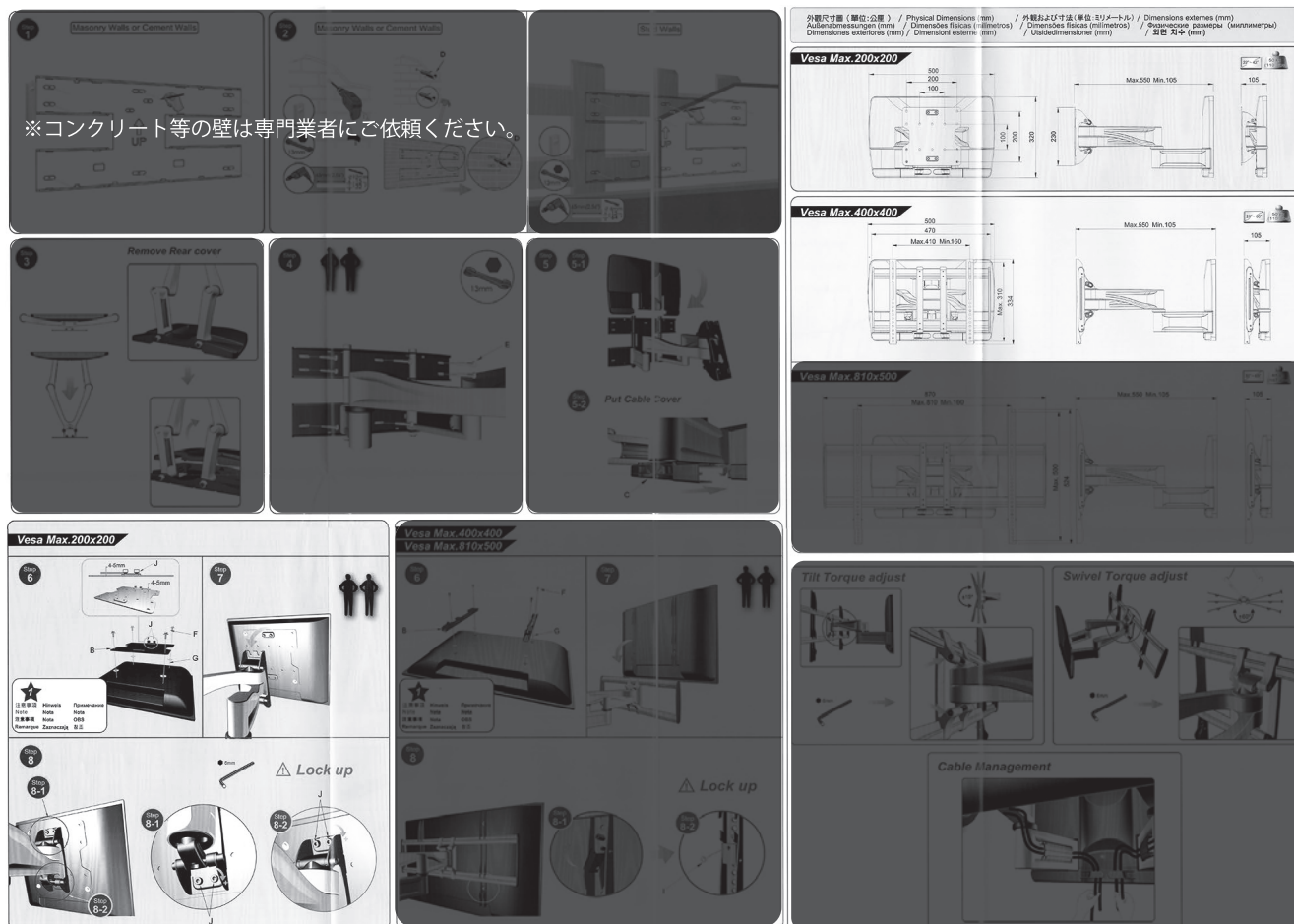
- 1) 間柱センサー  
壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。  
細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー  
ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー  
電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。  
付属のネジを使う場合、M13 六角ソケットが必要です。
- 4) ペン  
壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 5) メジャー  
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。
- 6) 柔らかい布  
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 7) 軍手  
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれません。



## さあ、設置・・・の前に

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦：100 ～ 500mm 横：150 ～ 810mm		50 kg 




カラー版取扱説明書の上記の黒くなっている部分の作業を行います。

本補足説明書とカラー版取扱説明書を照らし合わせて慎重に作業を行ってください。

## 部品（ネジ類）詳細


※その他の部品はカラー版取扱説明書をご参照ください。

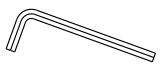
**D**  コンクリートアンカー 8本

**E**  壁用ネジ  
M8 × 62mm ねじ切りは 52mm  
[ネジ頭 六角：M13] 8本

**F**  テレビ取付用ネジ  
M4 × 12mm 4本    M4 × 18mm 4本  
M5 × 12mm 4本  
M6 × 12mm 4本    M6 × 18mm 4本  
M8 × 12mm 4本    M8 × 18mm 4本

**G**  ワッシャー 4枚

**I**  ブラケットロック用ネジ  
M4 × 10mm 2本  
※カラー版取扱説明書のアイテムリストでは  
「J」と記載されていますが、正しくは「I」です。

**H**  六角レンチ 6mm 1本

ネジは一通り付属しておりますが、テレビ・壁に合わない場合は別途ご用意ください。

Step  
**1**

コンクリート壁、レンガ壁への設置について

石膏ボード壁、木壁の場合はステップ2へ進んでください。



ご注意

**コンクリート壁、レンガ壁への設置は、必ず専門業者へご依頼ください。**

コンクリート壁、レンガ壁への施工は、非常に難易度が高い作業です。

付属のアンカーを使用しての個人設置は絶対に行わないでください。

Step  
**2**

石膏ボード壁、木壁への設置 ※ **Stud Walls** をご覧ください。

カラー版取扱説明書に付属のウォールプレート型紙を金具取付位置に当てて、ネジ穴位置をチェックし、下穴を開けます。

● 壁の構造について

必ず耐荷重のある壁に設置してください。

設置は、補強のある壁、もしくは壁裏の間柱に行ってください。

石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事が無いよう、十分にご注意ください。  
間柱に設置する際、端にネジを打つと強度が不十分・間柱が割れる等の可能性があります。危険です。  
間柱の中央にネジ打ちしてください。



ご注意

**カラー版取扱説明書に下穴の表記がありますが、付属のネジを使用する場合は、表記の深さよりも浅めに、35mm 程の深さで下穴を開けるようにしてください。**

Step  
**3**

**A** のウォールプレートカバーを外します。アームを最大に伸ばして外して下さい。

Step  
**4**



二人での作業を  
推奨

**A** のウォールプレートのネジ穴を Step2 で開けた下穴に合わせて、

**E** のネジを使用して金具を壁面に、しっかりと打ち込みます。

付属のネジを使用する場合は、ドリルドライバー用の M13 六角ソケットが必要です。

Step  
**5**

Step3 で外した **A** のウォールプレートカバーを取付けます。

この時、アーム付け根部分の下に **C** ケーブルカバーも取り付けます。

Step  
**6**



二人での作業を  
推奨

カラー版取扱説明書の図を参考に、**[B]** テレビブラケットをテレビ背面に取付けます。上下の向きにご注意ください。

**[F]** テレビ取付用ネジは、テレビの壁掛け用ネジ穴にあったものをお使い下さい。商品には一通りのネジが付属しておりますが、テレビに合わない場合は別途でご用意ください。

Step  
**7**

テレビに取り付けた **[B]** テレビブラケットを **[A]** ウォールプレート  
のアームのフレーム部に引っ掛けます。

この時点ではまだ落下の可能性がございますのでご注意ください。

Step  
**8**

Step7 で、アームフレーム部に引っ掛けた状態の **[B]** テレビブラケットの下部に  
可動部がございます。この可動部をカラー版取扱説明書の図を参考に、

**[I]** のネジでしっかりと固定してください。

● 角度調節について

- ・ 上下うなづき角度…カラー版取扱説明書の「Tilt Torque adjust」の画像のネジを、  
**[H]** 6mm 六角レンチで緩めて調節し、調節後はしっかりと締めてください。
- ・ 左右首振り角度…カラー版取扱説明書の「Swivel Torque adjust」の画像のネジを、  
**[H]** 6mm 六角レンチで調度良い固さに調節してください。

● コードホルダーの活用

- ・ カラー版取扱説明書の「Cable Management」をご参照ください。  
コードホルダー部分はプラスネジとなっており取り外し可能です。  
ネジをなくさないようご注意ください。

## 取付の終了と確認

各取り付け部分や壁面部にガタつき等がないか、チェックしてください。

緩みがあった場合は、しっかりと締め直しましょう。

少しでも違和感があった場合、テレビを一旦取り外し、専門業者に相談してください。

これらのチェック作業は3か月程度を目安に定期的に行い、

経年使用による落下などが無いように注意してください。